

ナンバリング	B①12	科目名	こどもの健康と安全
担当形態	単独	担当教員	有馬 祐子
ディプロマポリシーとの関連性	②, ③		
テキスト	「子どもの保健と安全」教育情報出版 「保育手帖」親業訓練協会刊		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	1単位・演習
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育における保健的な観点をふまえた保育環境や援助について説明できる。 ・保育における衛生管理・事故防止・安全対策・危機管理・災害対策・感染症対策等について関連するガイドラインや近年のデータをふまえ説明できる。 ・こどもの体調不良に対する適切な対応について具体的に理解し、活用できる。 ・こどもの健康・安全の管理に関わる組織的取組や保健活動の計画・評価について、具体的に理解し、説明できる。 		
授業の概要	保育施設でこどもが健康で安全に生活するために必要なことについて確認をして、事例を通して具体的に学ぶ。また、保育者の健康を大切に考えることについても学習する。		
授業計画	第1回 こどもの健康と保育の環境と援助 第2回 感染症対策(1)ガイドラインに基づく感染症の予防 第3回 感染症対策(2)ガイドラインに基づく感染症の対処 第4回 保育における保健的な対応(1)基本的な考え方・乳児への対応 第5回 保育における保健的な対応(2)個別配慮の必要なこどもへの対応 第6回 こどもの体調不良に対する適切な対応(1)救急処置・救急蘇生法① 第7回 こどもの体調不良に対する適切な対応(2)救急処置・救急蘇生法② 第8回 こどもの体調不良に対する適切な対応(3)救急蘇生法③ 第9回 こどもの体調不良に対する適切な対応(4)体調不良・傷害 第10回 健康・安全管理の実施体制(1)職員の連携・協働、組織的取り組み 第11回 健康・安全管理の実施体制(2)保育における保健活動の計画・評価 第12回 保育における健康及び安全の管理(1)衛生管理・事故防止・安全対策 第13回 保育における健康及び安全の管理(2)危機管理・災害対策 第14回 健康・安全管理の実施体制(3)施設外との連携 第15回 試験・保育における保健的な対応(3)障がいのあるこどもへの対応		

準備学習と必要時間	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時に与えられた事前課題は、次回授業時までには必ず内容を把握し、出席時に提出すること。(30分) ・授業の記録は、時々点検する予定なので、提出できるノートを用意し、記録の整理をしておくこと。(10分) ・授業時に取り組んだワークシートは、返却されたら復習できるように整理し、目を通すこと。(30分) 				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時配付する課題(事前) — 22% ・授業中配付するワークシート — 28% ・期末試験 — 50% 				
参考文献	授業時に適宜示す。				
特記事項	配布資料を整理するファイルの準備をお願いします。				
課題へのフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時には必要ないものを整頓し、片付けるべき道具はしまうこと。 ・課題の提出においては、書式、提出期日を守ること。 ・試験後は、解答を提示します。オンラインで講評します。 				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格	必修	保育の内容・方法に関する科目
教員の実務経験					